

2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	現代教育学部
--------	--------

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
0101	<p>大学の基本理念・使命・教育目的を踏まえ、学部の教育研究上の目的を適切に設定しているかの確認を行っている。大学の基本理念を5つの要素に分類し、学部の教育の目的と比較しておりわかりやすい。自己点検をきっかけに、学部の教育上の目的に大学の基本理念にある「国際的な視野を備えた人間を育成する」項目が設定されていないことと、研究上の目的が定められていないことを見つけ、速やかに、学則を変更しようとしていることは評価できる[0101b]。「国際的な視野を備えた人間を育成する」ことを達成するために、学部の特性を考慮し学部委員会を再編し、COC 担当委員会、国際交流委員会、情報化推進担当員をESD・国際情報委員会とし[0101c][0101d]、学生の国際的な視野拡大のためカナダ教育研修を実施したことも評価できる[0101e][0101f]。</p> <p>0102 学部の教育研究上の目的は学則、学生便覧に明示するとともにホームページ上に公開している[0102a]。教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載する方法で周知していることは他の学部も参考にできる[0102c]。</p>
長所・特色	
0101	<p>大学の基本理念を5つの要素に分類し、学部の教育の目的と比較している。自己点検をきっかけに、不備のあった学部の教育・研究目的の設定や対応する教育活動を迅速に実施した[0101b][0101e][0101f]。</p> <p>0102 教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載している[0102c]。</p>
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>	
0101	<p>学部の教育・研究目的の作成状況をフォローする必要がある[0101b]。【B】 今後、委員会の再編やカナダ教育研修等の実施効果を自己点検・評価することも必要ではないか。【B】</p>

ピアレビュー委員会（第4部会）

2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	現代教育学部
--------	--------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203 現代教育学部という学部の性質上、定期的に厚生労働省や文部科学省の外部調査を受けている。加えて、今回のピアレビューにより学内外部評価も受けることから、自己点検・評価の体制は十分に整っていると判断した。根拠資料から評価に関してもその内容を伺い知ることができたが、その後、どのような改善計画を立て、実施をしたかという記録を確認することができない。PDCA サイクルを回して、内部質保証システムが有効に機能していることを示す根拠資料を示す必要があると判断した [0203b] [0203c] [0203d] [0203e]。	
長所・特色	
0203 現代教育学部という学部の性質上、定期的に厚生労働省や文部科学省の外部調査を受けている。加えて、今回のピアレビューにより学内外部評価も受けることから、自己点検・評価の体制は十分に整っていると判断した [0203b] [0203c] [0203d] [0203e]。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
0203 外部（所管官庁）による審査を受けて、改善が実施されており、所管官庁からの再審査も求められていないことから、学部としては十分に問題解決が行われたとの認識を得ているとのことであった。しかし、審査結果は所管官庁のウェブに公開されているものの、学部構成員による共有が不十分であるようだ。今後は、審査結果の学部内での情報共有に、より留意しPDCA サイクルを実施するよう改善が望まれる。【B】	

## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準4

教育課程・学習成果（1）

## 総評

0401 現代教育学部では、課程修了にあたって学生が修得することを求められている知識、技能、態度等、学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針(DP)は、学科・専攻ごとに明確に明示・公表されている。また、DP・CP はともに明確に設定され、学生便覧に示されている。カリキュラムの特色（3）の「体験と参加を重視した授業」への取り組みとして、学校現場での「観察実習」をはじめとするヴァリエティに富んだ授業科目の設置工夫は、将来教育現場に立つ学生にとって有意義である[0401a]。

0402 現代教育学部では、授与する学位ごとに教育課程の編成・実施方針（CP）が学生便覧[0401a]に明示されている。また各学科・専攻のCPとDPの対応関係は意識されており整合性が認められる[0402a]。「教育課程系統図」は4年間の学習内容の系統と学ぶ科目を全体の中に位置づけているので各科目の意義が学生にとって明確になっている[0401b]。

0403 現代教育学部では、教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、これにふさわしい授業科目についての適切性を確認するために毎年シラバスの第三者点検を行っている[0403a]。「教職課程実地視察大学に対する講評」で指摘されている点について、教育課程と教員業績の見直しを行ったことで改善の取り組みがなされている[0403c][0403e][0403f]。また2018年度の保育士養成課程については、学則変更がなされるなど改善をみている[0403g][0403h]。高大接続に関しては「有機的な接続」が必要とのことで、出前講義以外にも他の可能性を検討することが求められる。

## 長所・特色

0401 カリキュラムの特色（3）の「体験と参加を重視した授業」への取り組みとして、学校現場での「観察実習」をはじめとするヴァリエティに富んだ授業科目の設置工夫が、将来教育現場に立つ学生にとって有意義である[0401a]。

0402 「教育課程系統図」は4年間の学習内容の系統と学ぶ科目を全体の中に位置づけているので各科目の意義が学生にとって明確になっている[0401b]。

0403 「教職課程実地視察大学に対する講評」の項目4.「学生への教職指導の取組状況及び体制」の箇所について、文科省から指摘された「教育実習センターや相談室、自習室の設置体制」が学生の教育効果や学習課程をサポートする体制として機能している点など、アクティブ・ラーニングの充実に向けてコモンズセンターの積極的利用に向けた取り組みの意義は大きい[0403c]。

## 留意点

- \*各項に留意点レベルを記入
- 【A】・・・緊急の改善を要する事項
- 【B】・・・検討を要する事項

0403 高大接続に関しては「有機的な接続」が必要とのことで、出前講義以外にも他の可能性を検討することが求められる。【B】

## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準4

教育課程・学習成果（2）

## 総評

0404 学生の学修を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じている。将来の職業に直結した模擬授業や模擬保育の演習やグループワークがどの学年においても実施していることは評価できる[0404b]。

0405 成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っている。複数の授業担当者がいる科目については、成績評価会議を実施し客観性・厳格性を保証する仕組みがあることは評価できる。単独で授業を担当している場合の評価の客観性・厳格性を担保するシステムも必要であることを認識している[0405b]。卒業論文の書式、卒業論文査読者向けの評価基準があることは、評価の客観性・厳格性の上から評価できる[0405c]。

## 長所・特色

0404 職業に直結した模擬授業や模擬保育の演習やグループワークをどの学年においても実施している[0404b]。

0405 複数の授業担当者科目は成績評価会議を実施している。卒業論文の書式、卒業論文査読者向けの評価基準がある[0405c]。

## 留意点

\*各項に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

0405 複数授業担当者科目で実施している成績評価会議の記録等の根拠資料も残してしておく必要がある。単独授業担当者科目の成績評価の客観性・厳格性の確保する方法を検討する必要がある。【B】

## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準4

教育課程・学習成果（3）

## 総評

0406 学生に自らの学習成果を把握させるため、履修状況確認表を各自で作成させ、指導に役立てている[0406a]。また、セミナーや研究会を開催し、授業づくりに関して広く議論をしている点は学習成果を高めるための努力を継続して進めている試みであり、素晴らしいと感じた[0406c][0406d]。なお、卒業生に対して学部として積極的に連絡を取り、就職先の分野別に集めて動向調査を試みている点は学習成果を評価する意味で非常に意義深いと感じた[0406b][0406e]。

0407 教育課程およびその内容、方法の適切性に関しては、文部科学省や厚生労働省から定期的に視察等を受けている状況にあるため、問題はないと思われる[0407a][0407b]。しかし、現代教育学部の学習成果は最終的に教員や保育士の資格取得率や当該職種への就職率に反映される。それゆえ、それらに関する情報が根拠資料に必要である。

## 長所・特色

0406 学生に自らの学習成果を把握させるため、履修状況確認表を各自で作成させ、指導に役立てている[0406a]。また、セミナーや研究会を開催し、授業づくりに関して広く議論することで学習成果を高める努力をされている[0406c][0406d]。卒業生と積極的に連絡をとり、学習成果の把握に努めている[0406b][0406e]。

0407 教育課程およびその内容、方法の適切性に関しては、文部科学省や厚生労働省から定期的に視察等を受けている状況にあるため、十分に点検・評価されていると思われる[0407a][0407b]。所管官庁による調査に備えた、自己点検・評価を実施し、それに基づいたカリキュラム変更などを実施することにより、資格免許取得状況や保育職・教職への就職状況が好転している[0407c]。

## 留意点

\*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項  
【B】・・・検討を要する事項

0406 卒業生の返信率の低さ及び卒業後の動向調査で困難な状況にある点が憂慮されるので、情報の収集方法の改善が望まれる。【B】

2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	現代教育学部
--------	--------

基準5	学生の受け入れ
-----	---------

総評	
0501	現代教育学部では、入学者受け入れの方針（AP）、教育課程、卒業認定、学位授与方針等がホームページ、学科パンフレット、入試関連資料に適切に記載するなど情報発信はできている[0501a][0501b][0501c]。
0502	入学者受け入れの方針（AP）に基づき、公平・公正な入試となるべく学部内で編成されたチームがこれに取り組んでいることから AP に基づいた入学者選抜に必要な能力判定基準が教員間で共有されていることは評価できる。 AO ポートフォリオ入試の課題図書を選定と発表・討論を盛り込んだ内容はきめの細かい指導と丁寧な評価方法であると高く評価しうる。学部の関与が相対的に大きい AO 入試について、十分な潜在能力を図ろうとする積極性が感じられる[0502][0504c]。
0503	適切な入学者の受け入れについては「概ね確保」と適切性が確認され、収容定員も管理されている[0503a]。
0504	AP に基づき、合格者比率に関しては、学部主任者会で定期的かつ適切に検討されている[0504f]。
長所・特色	
0502	AO ポートフォリオ入試の課題図書を選定と発表・討論を盛り込んだ内容はきめの細かい指導と丁寧な評価方法であると高く評価しうる。学部の関与が相対的に大きい AO 入試について、十分な潜在能力を図ろうとする積極性が感じられる[0502][0504c]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準6

教員・教員組織

## 総評

0602 法令定員に対する現員数の割合は、他の学部と比べ低いとは言えない[0602a]。例えば工学部と比較するとずいぶん高い。また、教授と准教授および講師との人数のバランスも良く、女性教員も多い。

0604 FD活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげている。職員も参加するFD&SD活動を推進するFD&SD委員会を設置し[0604a]、FD&SD活動を実施していることは評価できる[0604b][0604c]。

0605 教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っている。現代教育学部を取り巻く学外・学内環境の変化に対応し、教員間の業務従事量の均等化を図ることなどを目的に組織および規定等の見直しを年度末に実施していることは評価できる[0605c]。

## 長所・特色

0604 FD&SD委員会を設置し[0604a]、FD&SD活動を活発に実施している[0604b][0604c]。

0605 組織および規定等の見直しを年度末に実施している[0605c]。

## 留意点

\*各項目に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

特になし。

## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準7

学生支援

## 総評

0702 学生支援の体制は、方針に基づき整備され、学生支援が適切に行われていることが確認された。学生支援委員会と資格関連就職支援委員会を中心に、大学の方針や学部の特性に基づいた学生支援が行われている[0702a][0702b][0702f]。

学部教育に関連した学生の資格ニーズへの対応として、「准学校心理士」加盟校申請が認められた[0702h]。

## 長所・特色

0702 学生支援委員会と資格関連就職支援委員会を中心に、大学の方針や学部の特性に基づいた学生支援が行われている[0702a][0702b][0702f]。

学部教育に関連した学生の資格ニーズへの対応として、「准学校心理士」加盟校申請が認められた[0702h]。

## 留意点

\*各項に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

0702 全学的なものに加えて、学部独自の魅力的な学生支援方策が実施されているが、参加者の満足度調査などによる検証とそれに基づく改善について不十分な点が認められるので、改善が望まれる。【B】



## ピアレビュー委員会（第4部会）

## 2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

現代教育学部

基準8

教育研究等環境

## 総評

0802 現代教育学部では、教育研究施設環境に関する方針に基づき、学部内の施設・設備の整備について全般的に意識の高いことが評価できる。文部科学省による厳格な外部審査を受けた結果、適合している環境にある[0802a][0802b]。

0806 事業計画、教育環境整備に関して年度ごとに施設の状況点検が適切になされ、具体的に優先順位を付けて充実化が図られている。また研究所の活動報告からも分かる通り、数多くの活発な社会貢献活動は高く評価できる[0806c][0806d][0806e]。

## 長所・特色

0802 文部科学省による厳格な外部審査を受けた結果、適合している環境にある[0802a][0802b]。

0806 事業計画、教育環境整備に関して年度ごとに施設の状況点検が適切になされ、具体的に優先順位を付けて充実化が図られている。また研究所の活動報告からも分かる通り、数多くの活発な社会貢献活動は高く評価できる[0806c][0806d][0806e]。

## 留意点

\*各項に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

特になし。

2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	現代教育学部
--------	--------

基準9	社会連携・社会貢献
-----	-----------

総評	
<p>0902 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施している。また、教育研究成果を適切に社会に還元している。春日井市（教育委員会）と社会連携・社会貢献活動を実施するための協定を結び、教育に関する諸活動を発展的に継続していることは大いに評価できる[0902a]。春日井市を含めた社会連携・社会貢献活動を推進する社会貢献活動委員会を設置し、具体的に7活動を明示し、それぞれの活動を推進したことも評価できる[0902b]。ただし、それらの具体的内容や活動記録等の根拠資料も提示する必要がある。国際交流に関して、カナダ・ケローナにおいて学生の研修を実施したことは評価できる[0902c][0902d][0902e]。</p>	
長所・特色	
<p>0902 春日井市を含めた社会連携・社会貢献活動を推進する社会貢献活動委員会を設置し、具体的に7活動を明示すると共にそれぞれの活動を推進している[0902b]。 カナダ・ケローナにおける学生の国際交流を実施している[0902c][0902d][0902e]。</p>	
留意点	
<p>*各項目に留意点レベルを記入</p>	<p>【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>0902 7活動の具体的内容や活動記録等の根拠資料を提示する必要がある。【B】 また、それらや国際交流を行ったことで学生や社会に与えた効果の検証も必要ではないか。【B】</p>	

ピアレビュー委員会（第4部会）

2019年度（対象年度：2017-2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	現代教育学部
--------	--------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
<p>1120 学部内の主要な委員会は年度初めに活動計画、年度末に活動報告を行っている[1120d][1120e]。個々の委員会活動においても議事録等が整備されており、根拠資料をもとに自己点検・評価をすることができる体制が整っている[1120a][1120b]。また、組織の見直しに関する議論も積極的に進められており[1120c]、学部として管理運営がしっかりと行われていると判断した。</p>	
長所・特色	
<p>1120 委員会の活動計画および報告[1120d][1120e]、議事録等[1120a][1120b]が適切に作成、共有されている。また、組織の見直しに関する議論も積極的に進められており[1120c]、学部の管理運営が適切に行われていると判断した。</p>	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	<b>【A】</b> ・・・緊急の改善を要する事項 <b>【B】</b> ・・・検討を要する事項
<p>1120 改善点に議事録作成に必要な人員の確保とある。委員会の構成員が少なすぎるものが原因と思われるので、委員会の人員増強が望まれる。<b>【B】</b></p>	